

授業科目名	公衆衛生看護学概論(2300251)		
時間割名	公衆衛生看護学概論(14201)		
時間割担当	芝田ゆかり		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	月・4		

授業の目標・概要

公衆衛生看護の歴史の変遷をふまえ、今日的な活動の理念と目的を理解する。また広範な対象とあらゆる健康レベルに及ぶ健康課題に対応していく考え方、集団を対象とした健康課題の捉え方や予防対策について学ぶ。公衆衛生看護を構成する各分野や対象となる人々のライフステージや課題、公衆衛生看護固有の方法論、活動の法的基盤についても触れ、公衆衛生看護学の全体像を把握し、実践方法を学ぶ基盤とする。

学習の到達目標

1. 公衆衛生看護学の基本理念と目的を説明できる。
2. 地域や社会の動向、人々の健康に影響する背景・要因と健康課題について説明できる。
3. 公衆衛生看護が展開される場（行政、在宅、学校、産業）とそれぞれの対象者とその課題を説明できる。
4. 地域を基盤とする公衆衛生看護活動の内容を説明できる。

授業方法・形式

講義形式を中心として、一部グループワークを取り入れる。

授業計画

- 第1回 ガイダンス、公衆衛生看護の基本
公衆衛生看護の目的・基本理念、公衆衛生看護における倫理
- 第2回 人々の健康に影響する背景・要因と健康課題
人口の変化と健康課題、疾病構造の変化と健康課題、環境の変化と健康課題
- 第3回 人々の健康に影響する背景・要因と健康課題
社会構造・文化的背景の変化と健康課題、社会情勢、政治・経済・産業構造の変化
- 第4回 公衆衛生看護の歴史
日本の公衆衛生と公衆衛生看護、諸外国の公衆衛生と公衆衛生看護
- 第5回 健康のとらえ方と公衆衛生
健康の定義およびその諸側面と成立要因 - 健康の保持増進・疾病の予防を考える基盤 -
- 第6回 健康施策の世界的潮流
プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション
- 第7回 公衆衛生看護学で必要な理論
- 第8回 公衆衛生看護活動の対象
地域社会を構成する単位と公衆衛生看護活動の対象
- 第9回 公衆衛生看護活動の対象
公衆衛生看護の場と機能
- 第10回 公衆衛生看護の活動方法と特性
予防レベルと活動、公衆衛生看護活動の基本と展開過程
- 第11回 公衆衛生看護の活動方法と特性
公衆衛生看護活動の基本と展開過程、地域ケアシステムの構築
- 第12回 公衆衛生看護の活動方法と特性
「生活習慣病と運動の役割」
- 第13回 公衆衛生看護活動における健康危機管理
自然災害、感染症などの発生と公衆衛生看護
- 第14回 公衆衛生看護学の法的根拠
行政・学校・産業等における保健活動と関連法規
- 第15回 まとめ

成績評価の基準

筆記試験（70%）、出席態度・小テスト（15%）、レポート（15%）等で総合評価する。

準備学習・復習及び授業時間外の課題

事前学習は講義予定に相当する教科書を読んでおく。
事後学習は、講義で学習した内容をまとめ、教科書でも再度確認する。
公衆衛生学等の関連科目と照らし合わせて講義を受講する。

履修上のアドバイス及び留意点

- ・私語を慎む、無断で遅刻・早退をしないなど、受講上の基本的なマナーを守る。
- ・資料の予備配布は行わないため、欠席した学生は、次回講義までに出席した学生などから資料をコピーさせてもらう。

教材・教科書

1. 標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論：医学書院
2. 「国民衛生の動向」2017 / 2018 厚生統計協会

参考書

適宜、講義時に紹介予定